

第2章

吉賀町の都市特性

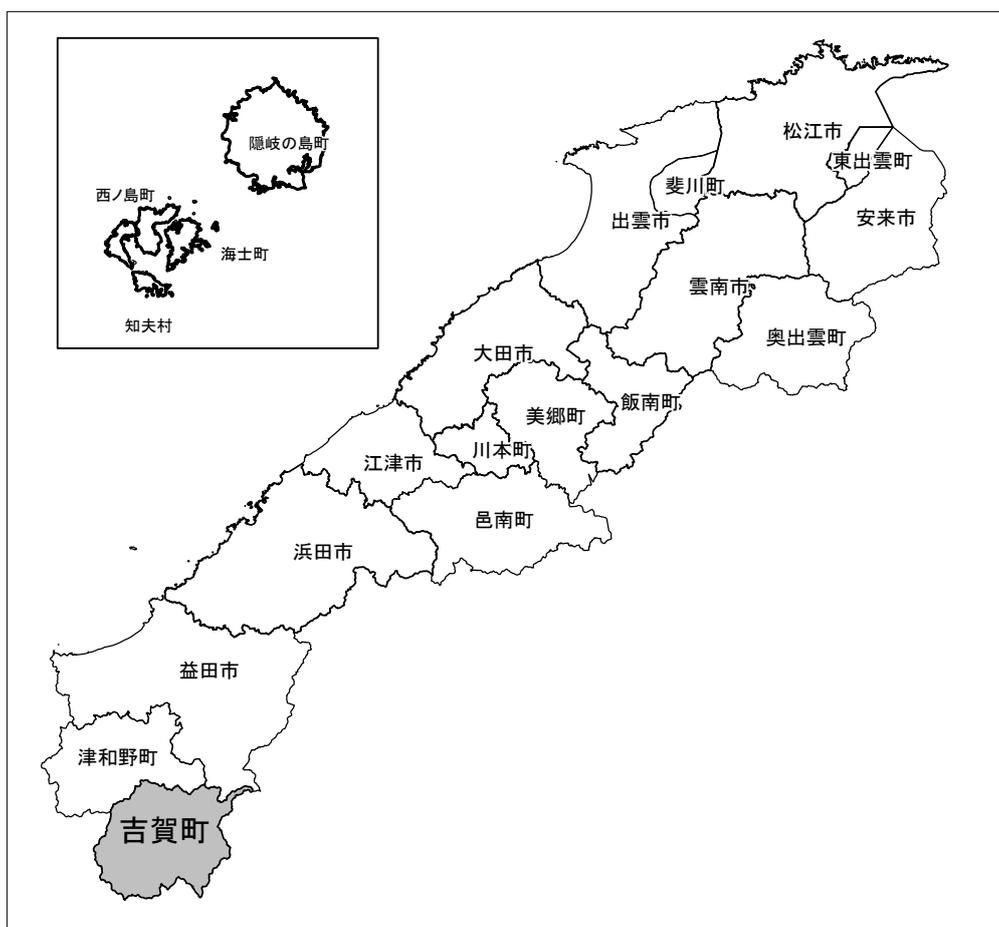
1. 吉賀町の位置と歴史

本町は島根県の西端に位置し、中国自動車道のインターチェンジを有した島根県の西の玄関口です。1,263mの安蔵寺山等、険しい山々に囲まれた自然豊かな中山間地域です。北は津和野町と一部分益田市に接し、西に山口県山口市、南に山口県周南市、東に山口県岩国市に接しています。現在（平成25年10月1日）の面積は336.29K㎡です。

本町は吉賀地方と呼ばれ、江戸時代には吉賀三領「上領」「中領」「下領」に属し、参勤交代にも使われた主要街道筋で宿場町でもありました。

旧柿木村は明治22年4月1日に村制を施行して以来、平成17年10月の合併まで、行政区域を変えることなく続いた村でした。また、旧六日市町は、市制・町村制が施行された当時七日市村、朝倉村、六日市村、蔵木村の四村でした。その後、六日市村は昭和22年11月3日に町制を施行し、昭和29年12月1日朝倉村・蔵木村と合併、昭和31年9月30日七日市村と合併しました。そして、平成17年10月1日、旧柿木村と旧六日市町が合併して、現在の吉賀町が誕生しました。（町HP：町の概要参照）

◆図表2-1 本町の位置

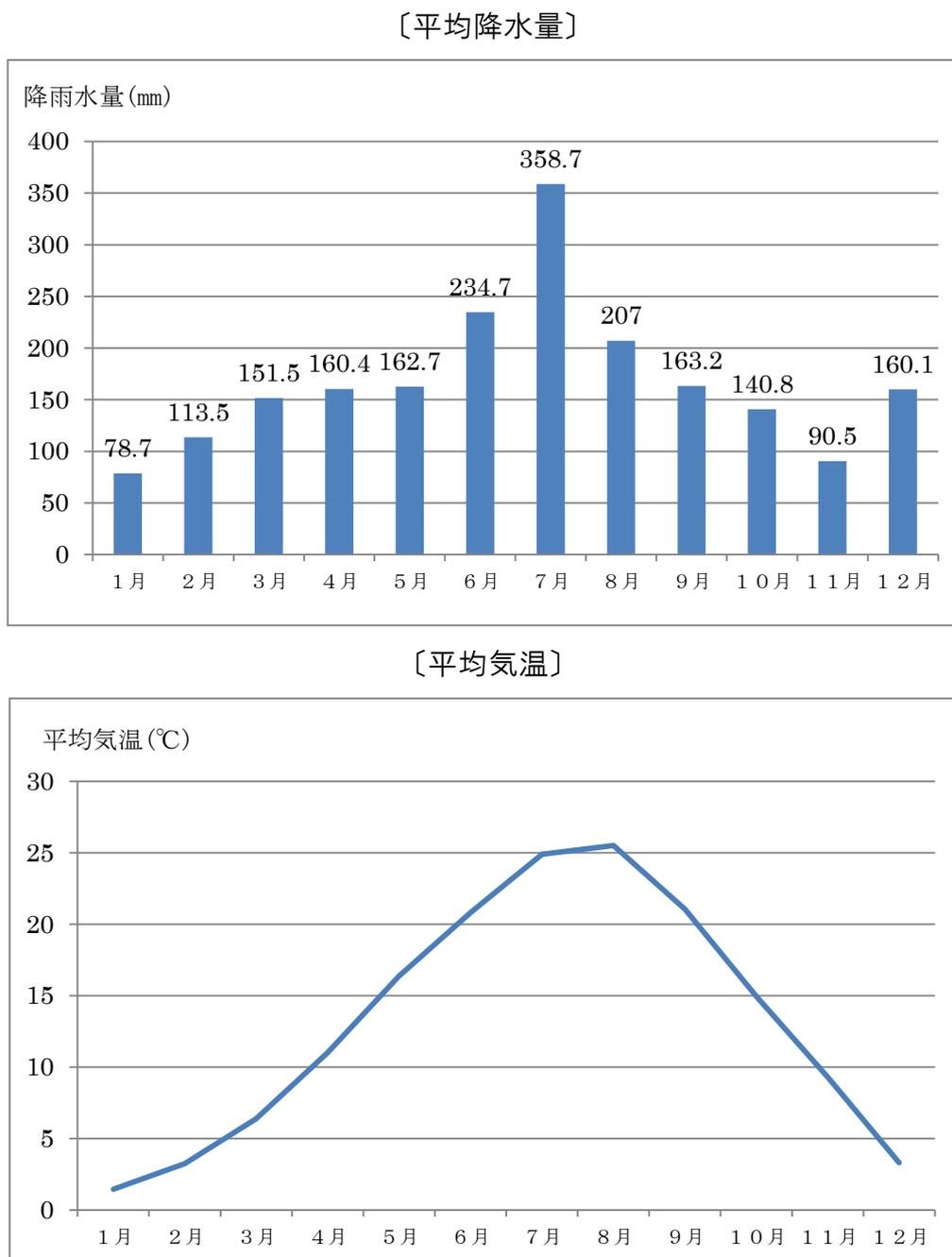


2. 吉賀町の主要指標

1 気候

本町の気候特性は、夏は比較的過ごしやすく、冬は寒さが厳しい山陰の代表的な内陸性気候です。

◆図表2-2 本町周辺に位置する気象観測所の平均降水量・平均気温（平成22～26年）



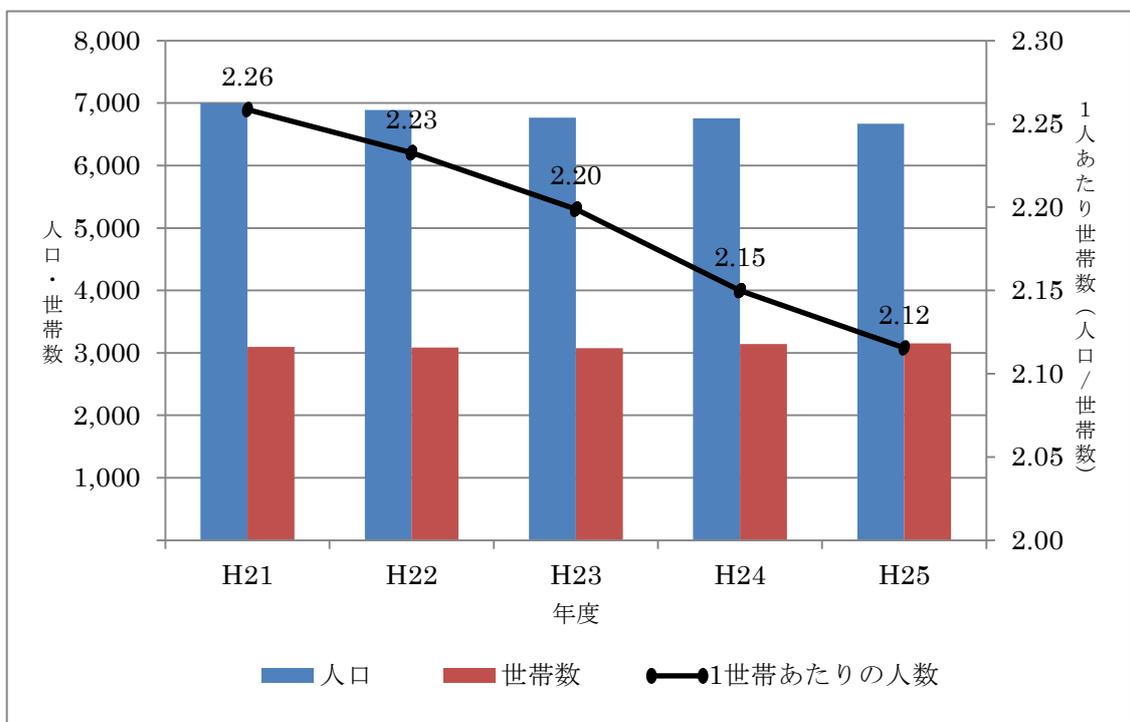
（資料：気象庁「気象統計情報」）

2 人口及び世帯

本町の人口及び世帯数を過去5ヵ年のデータで見ると、人口は減少傾向、世帯数は微増傾向にあり、1世帯あたり人員数は減少しています。

年齢階層別人口割合（平成24年）は、15～64歳の割合が48.8%と最も高く、島根県全体と比較して、65歳以上の割合が41.4%と高くなっています。

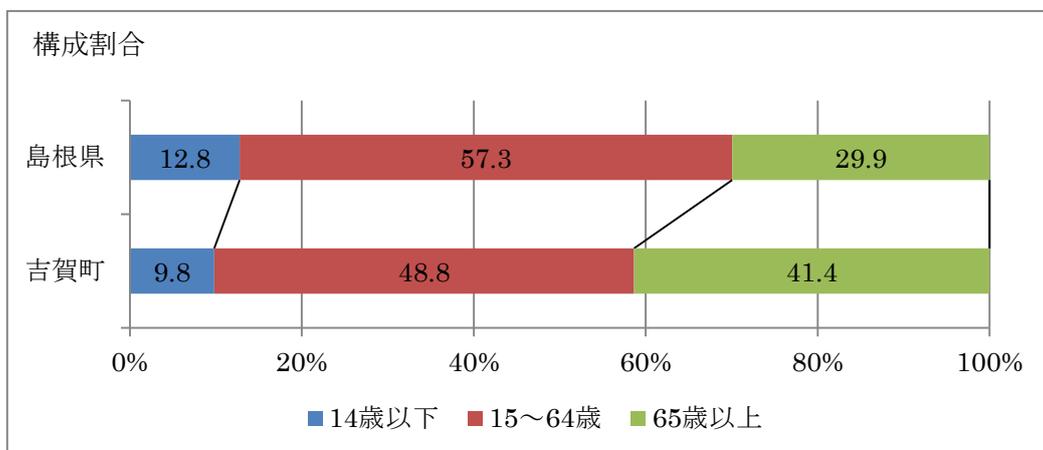
◆図表2-3 人口及び世帯数の推移



注) 各年3月31日（外国人除く）現在ですが、平成25年度より調査機関が調査時期を変更したため、1月1日現在となっています。

（資料：総務省統計局「住民基本台帳」）

◆図表2-4 年齢別人口構成割合（平成24年）

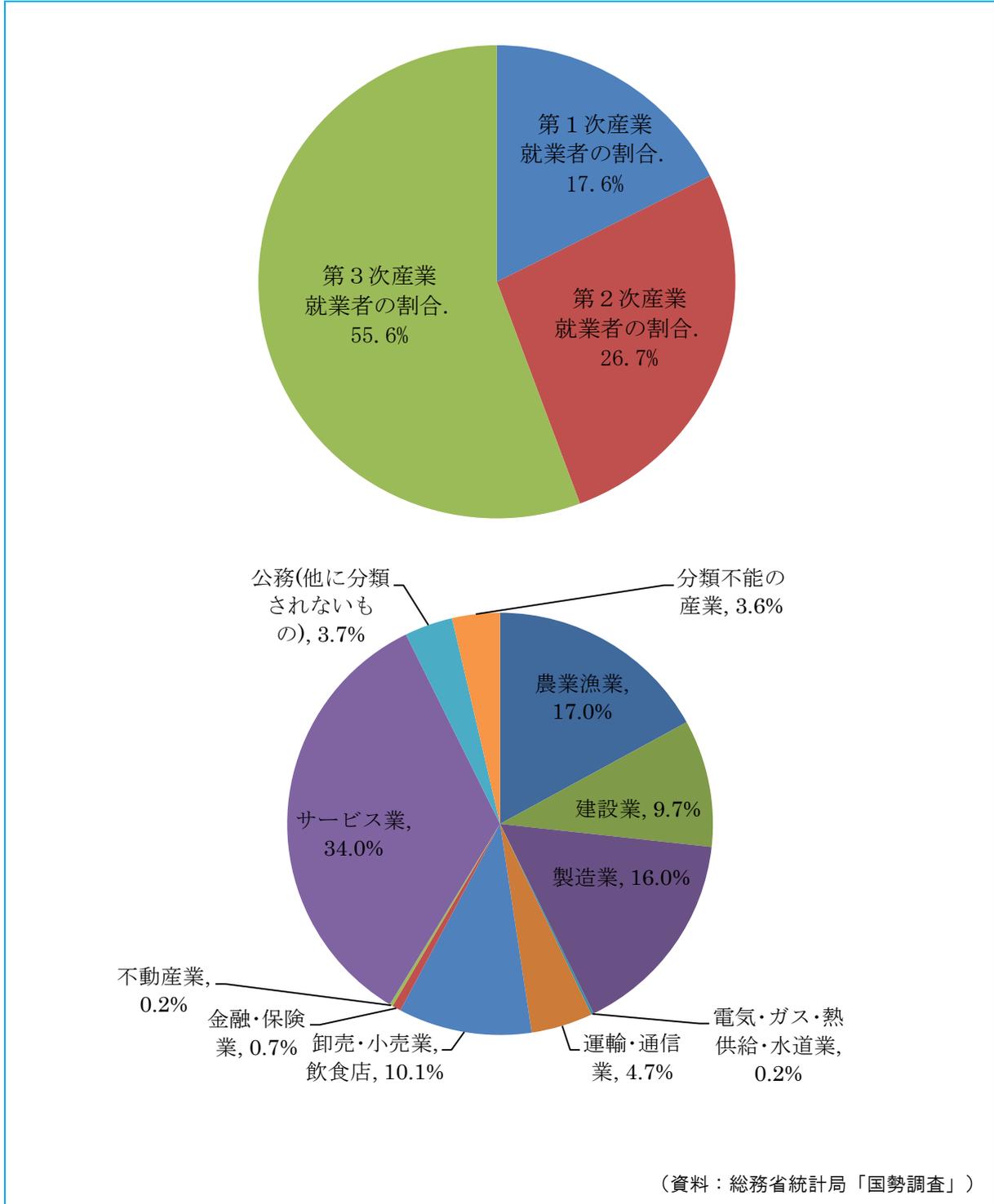


（資料：県統計調査課「島根の人口移動と推計人口」）

3 産 業

本町の産業を就業者数別に割合でみると、第1次産業は17.6%で、第2次産業が26.7%、第3次産業が55.6%です。さらに、その内訳は、第三次産業のサービス業が34.06%と最も高く、次いで、第1次産業の農業漁業が17.0%、第2次産業の製造業が16.0%と高い割合となっています。

◆図表2-5 産業大分類別就業者数とその割合（平成22年度）

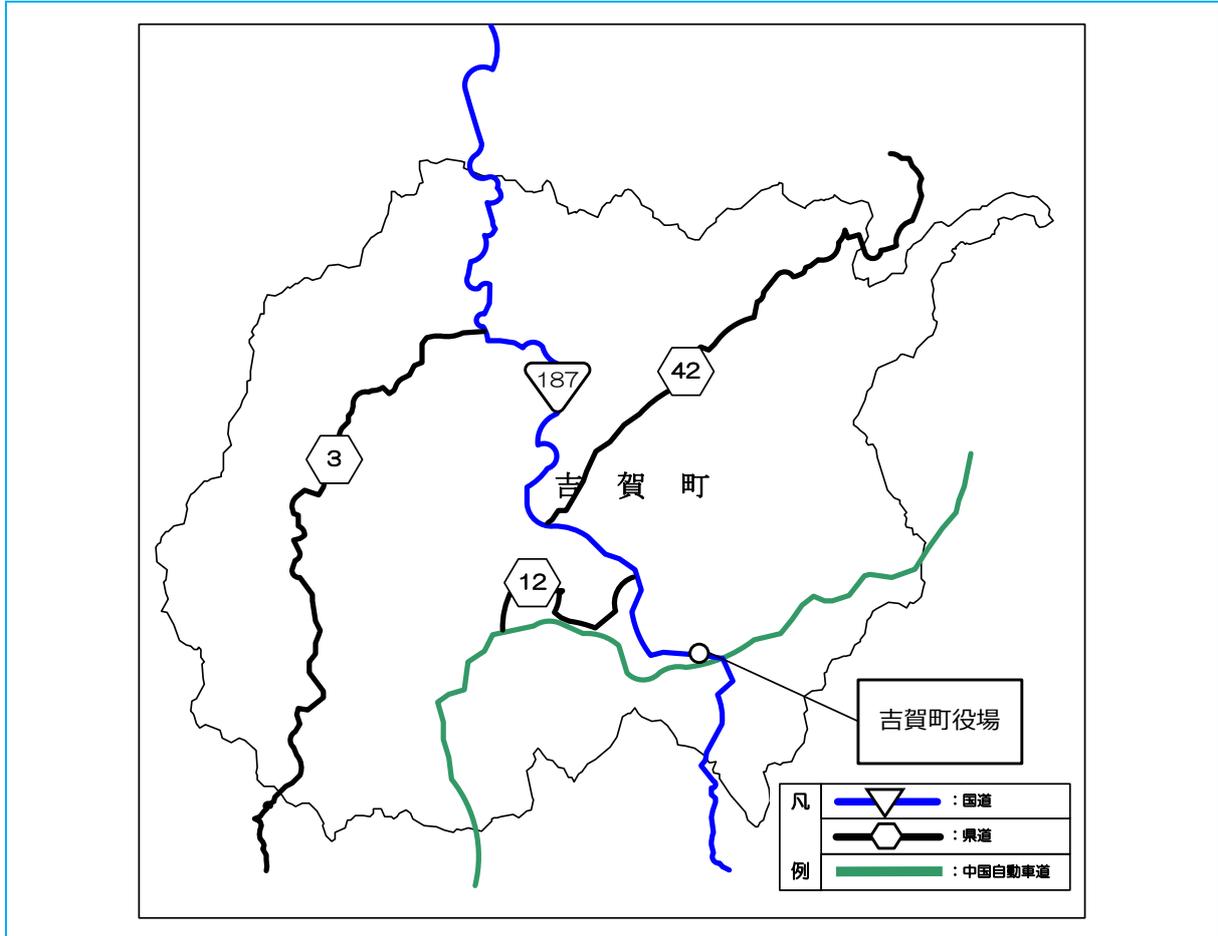


4 交通

本町の主要交通網は中国自動車道や主要国道を中心とした道路網です。

町内の南側を高速道路である中国自動車道が東西に貫いており、六日市インターチェンジにより周辺へアクセスしています。また、町内を南北に国道 187 号線が縦断しており、北側は、旧柿木村を通り、津和野町、益田市方面にアクセスしています。南側は、山口県との県境に近く、岩国市錦町方面にアクセスしています。

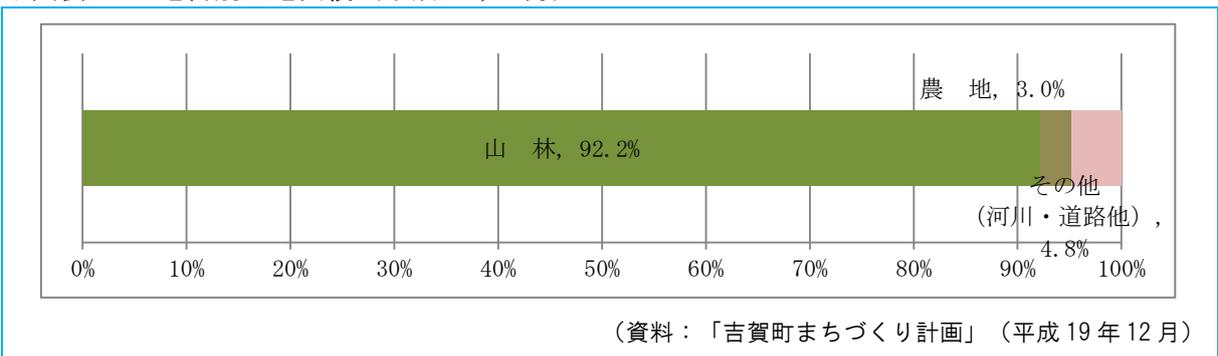
◆図表2-6 主要交通網



5 土地利用状況

本町の土地利用について土地面積の割合をみると、92.2%が山林で最も多く、農地が3.0%、その他（河川・道路他）が4.8%となっています。

◆図表2-7 地目別土地面積（平成24年10月）



6 観光

本町は、豊かな自然環境に育まれた景観や古くから語り継がれる歴史と文化を有する町です。こうした環境や文化をより多くの観光客の方に来て、見て、触っていただくための施設があります。

観光客数は平成 22 年に「道の駅むいかいち温泉」のオープンにより一時的に増加しましたが、平成 23 年に減少し、その後は年間 25 万人程度で、ほぼ横ばいに推移しています。

◆図表 2-8 観光客数の状況

	H21	H22	H23	H24	H25
吉賀町観光客数（人）	219,198	277,036	258,364	255,141	257,124
(1) 右ヶ谷キャンプ場	133	-	-	-	-
(2) 柿木温泉	42,663	40,700	35,991	33,682	33,447
(3) 木部谷温泉	11,758	11,737	9,984	8,255	7,847
(4) 道の駅かきのきむら	48,889	46,117	44,650	42,617	42,697
(5) リバーサイドログハウス村	920	1,325	850	874	1,049
(6) ゴギの郷ログハウス村	256	229	580	299	319
(7) 水源会館	1,863	1,875	1,637	1,697	859
(8) むいかいち温泉ゆ・ら・ら	112,716	125,936	112,668	111,992	110,502
(9) 道の駅むいかいち温泉	-	49,117	52,004	55,725	60,404

（資料：島根県観光振興課「観光客動態調査結果」）

7 総合計画

本町の総合計画は、平成 17 年 10 月 1 日に六日市町と柿木村が合併して吉賀町が発足し 2 年を経過した平成 19 年 12 月に策定しており、「自然の恵みに生まれ、人と共に生きる自立発展のまち」を将来像として掲げ、平成 28 年度までの計画期間としています。

ごみ処理に関しては、発生・排出・処理の各過程において包括的なごみ減量運動に取り組み、収集体制の拡充、環境教育・保全を目的とした意識高揚施策を図り、生活排水処理に関しては、地域の実情に応じた生活排水処理事業の推進と、下水道供用開始区域内における接続加入の推進に努めるものとしています。

- 計画名称：吉賀町まちづくり計画
- 策定年月：平成 19 年 12 月
- 計画期間：平成 19 年度～平成 28 年度
- 目標人口：6,200 人（平成 28 年度）
- ごみ処理に係わる主要施策
 - ① 発生段階・排出段階・ごみ処理段階の各過程において、発生抑制・再使用・再利用の基本原則を重視し、包括的なごみ減量運動に取り組めます。
 - ② 収集された資源ごみ、粗大ごみ等の効率的な選別、再資源化を行うため、鹿足郡不燃物処理組合の運営する処理場の機能充実を図ります。また、ごみ収集体制を拡充します。
 - ③ 不燃物処理場の見学や各種リサイクル啓発イベント、不法投棄パトロールの強化等により、環境教育の充実と環境保全意識の醸成に努めます。
- 生活排水処理に係わる主要施策と目標
 - ① 地域の実情に応じて、下水道事業等の生活排水処理事業を実施することにより、美しい自然環境の保全と良好な水環境づくりをめざします。また、供用開始済みの区域内における接続加入の推進に努めます。